

# 高齢者インフルエンザ予防接種費用の助成について

毎年、冬になるとインフルエンザが流行します。インフルエンザは人にうつりやすく、かかると突然の高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・のどの痛み・咳・鼻水など、全身に症状が現れます。特に高齢者がかかると、肺炎などの合併症を引き起こし、死に至ることもありますので、十分な注意が必要です。

ただし、季節性インフルエンザワクチンを接種したからといって、必ず感染しないわけではありません。接種してもしなくても、手洗い・マスクなど予防に努めましょう。

市では、高齢者を対象に季節性インフルエンザの予防接種の接種費用の助成を行っています。この予防接種は、個人の判断による任意接種ですので、受けなければいけないという義務はありませんので、本人が希望される場合に限って接種します。予防接種の必要性や副反応について十分に理解した上で接種を受けましょう。

## ◆ 助成対象者

一宮市民で接種時に次の条件を満たす方

- ① 満65歳以上の方
- ② 満60歳から64歳までの方で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能障害またはヒト免疫の機能障害で、身体障害者1級をお持ちの方、またはそれに相当する方

## ◆ 実施場所

[市内協力医療機関](#)

<参考>

昨年は、国が実施した新型インフルエンザ予防接種事業により、全国どこで接種してもよかったのですが、今年度は新型インフルエンザ予防接種事業を国が実施しませんので市内協力医療機関以外で接種された場合は、全額自己負担になります。

ご注意ください。

## ◆ 実施期間

平成23年11月1日～平成24年1月31日

※ 実施期間以外の接種は該当しませんのでご注意ください。

## ◆ 接種回数

1回限り

## ◆ 持ち物

健康保険証など（年齢、住所が確認できるもの）

※ 助成対象者の②に該当する方は、身体障害者手帳または障害の程度を証明できる医師の診断書をお持ちください。

## ◆ 本人負担額

1,000円

生活保護世帯の方は、本人負担金が免除になりますので、事前に生活福祉課で無料の予防接種予診票をお受け取りください。

## <参考>

昨年は、国が実施した新型インフルエンザ予防接種事業により、市民税非課税世帯の方も無料で接種できましたが、今年度は新型インフルエンザ予防接種事業を実施しませんので市民税非課税世帯の方でも本人負担金が必要になります。

なお、昨年の助成金の申請は平成24年3月30日をもって終了しますので、まだ、申請をされてみえない方はお急ぎください。

### ◆問い合わせ先

一宮市中保健センター TEL 0586-72-1121

一宮市西保健センター TEL 0586-63-4833

一宮市北保健センター TEL 0586-86-1611

## インフルエンザについて

インフルエンザは、毎年12月上旬から1月に流行が始まり、1月から3月にかけて流行します。普通のかぜの多くは鼻水、鼻づまり、のどの痛みや咳などの症状が中心で、全身症状はあまりみられません。インフルエンザはそれらの症状のほかに突然の38度以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身の症状が現れます。また、気管支炎や肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんや脳症などを併発して、重症化することもあるため、高齢者や小児では特に注意が必要です。地域の流行の状況に注意し、早めの対策を心がけてください。

### ☆ インフルエンザの予防について

- ・ 流行前にインフルエンザワクチンの接種を受けましょう。
- ・ 帰宅時にはうがいと手洗いをしましょう。
- ・ バランスのよい食事と十分な休養をとり、疲労を避けましょう。
- ・ 空気が乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなりますので、室内の湿度は50～60%に保つようにしましょう。
- ・ 人込みや繁華街への外出を控えましょう。もし外出をするときはマスクの着用をしましょう。

### せき

### ☆ 「咳 エチケット」のすすめ

- ・ インフルエンザの基礎知識【厚生労働省】咳エチケット抜粋
- ・ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れましょう。
- ・ 鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐ蓋付きのゴミ箱に捨てられる環境を整えましょう。
- ・ せきをしている人にマスクの着用をお願いしましょう。せきをしている場合は、周りの方へうつさないために、マスクの着用をしましょう。